事例No.	1103
公表年度	R2
団体の属性	町村
団体名	静岡県川根本町

事例区分	一般行政

タグ	・税財政 ・新たな政策手法の確立・活用

事例種類	間伐や路網整備等の取組

事例内容・タイトル

地域住民の要望に基づいた里山林整備の推進

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

静岡県　川根本町（地域住民の要望に基づいた里山林整備の推進）

- 本町の森林面積は46,479haで、総面積の約94％を占めており、このうち、スギ・ヒノキを主体とした人工林は約71％と大部分を占めている。
- 人工林のうち９割以上が41年生以上と資源として成熟してきており、間伐等の森林整備を計画的かつ着実に実施していくことが重要である。しかし、本町は県内で最も高齢化率が高いことから、森林所有者が森林の現況を把握できていない場合が多い。そこで、町としては、自治会と連携して森林の公益的機能の維持及び向上を図るよう対策を講じる必要がある。
- 令和元年度は、集落に隣接する森林や集落の重要なインフラ施設に隣接する森林のうち手入れ不足の森林に対して間伐を実施した。

□　事業内容

1　里山林整備事業

- 台風等の自然災害に伴い道路や電線等のインフラ施設への被害を予防するため、また野生鳥獣の集落への侵入を防ぐため、倒木の恐れがある立木の伐採等及び林縁部の森林整備を実施

【事　業　費】2,286千円（うち譲与税2,286千円）

【実　　績】2.12ha

【内　　容】間伐、除伐、枝打、調査

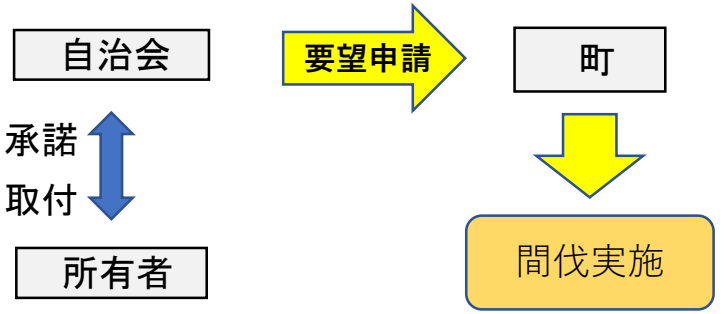


（着手前）



（着手後）

□　事業スキーム



□　工夫・留意した点

- 積極的な広報により16地区の要望が自治会からあった。
- 自治会で所有者から承諾を取り付けることで、地域で森林を管理する意識を持ってもらう。

◇　基礎データ

①令和元年度譲与額	23,129千円
②私有林人工林面積（※１）	11,800ha
③林野率（※２）	90.5％
④人口（※３）	7,192人
⑤林業就業者数（※４）	56人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」
※２：「2015農林業センサス」　　※３，４：「H27年国勢調査」